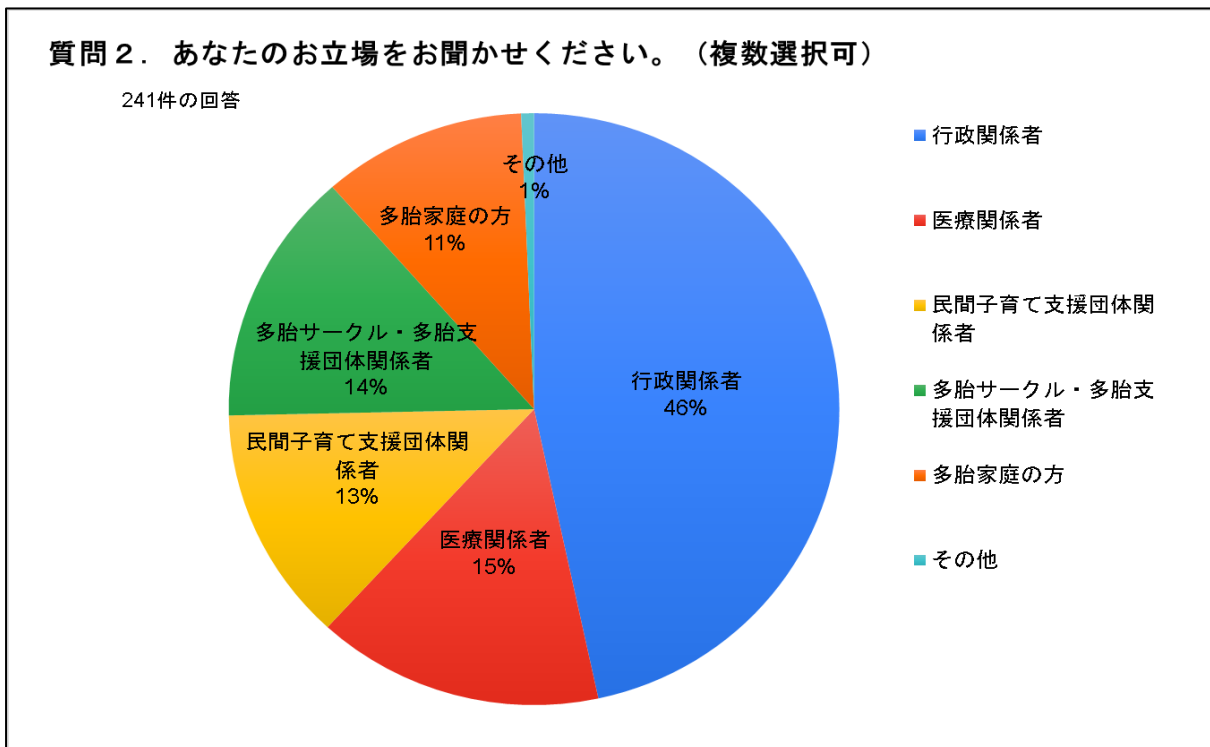
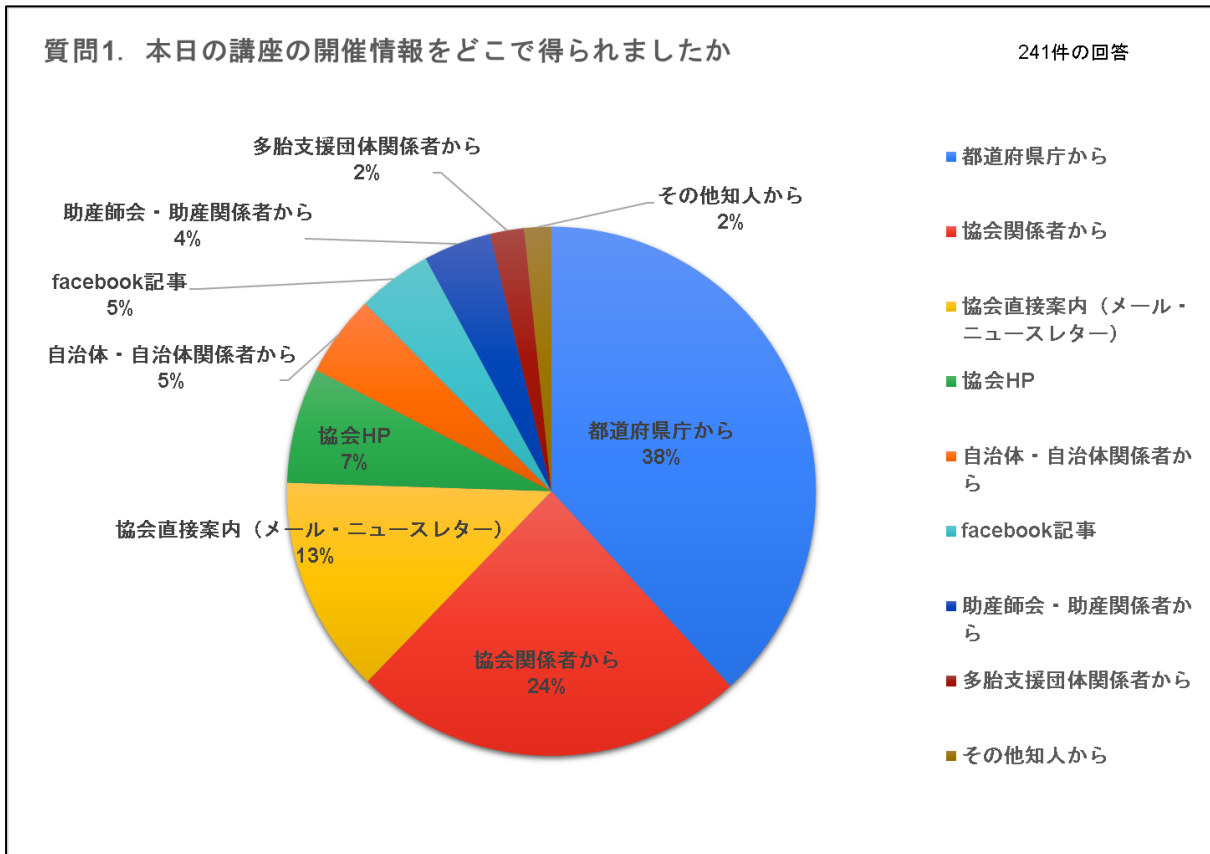


2020年9月5日
産前・産後サポート事業活用推進講座 アンケート結果

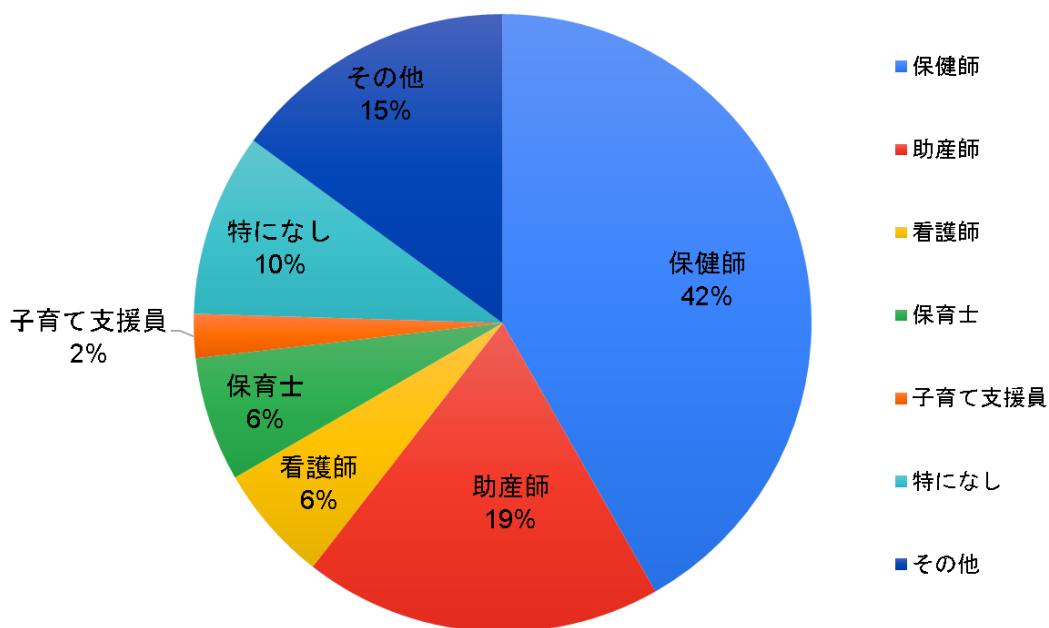
2020年9月13日まとめ
一般社団法人日本多胎支援協会
参加461名 アンケート回答数241



【その他】 大学教員、民間企業

質問3. あなたのご職種についてお聞かせください。(複数選択可)

241件の回答



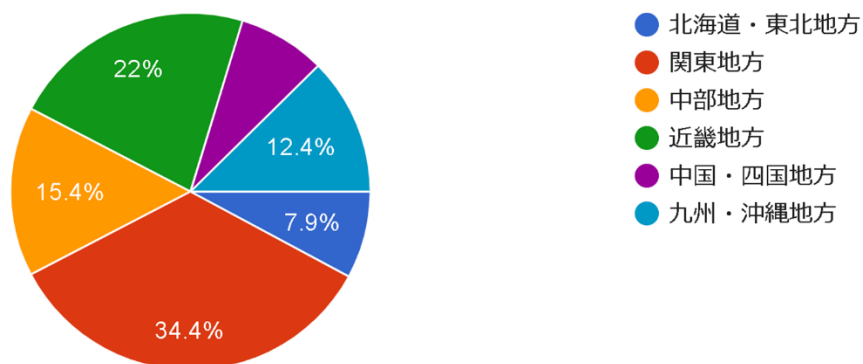
【その他】

教師(4)、市議会議員(2)、産後ドゥーラ(2)、ホームスタート オーガナイザー(3)、
ファミリーサポートセンターアドバイザー(3)、事務職(3)

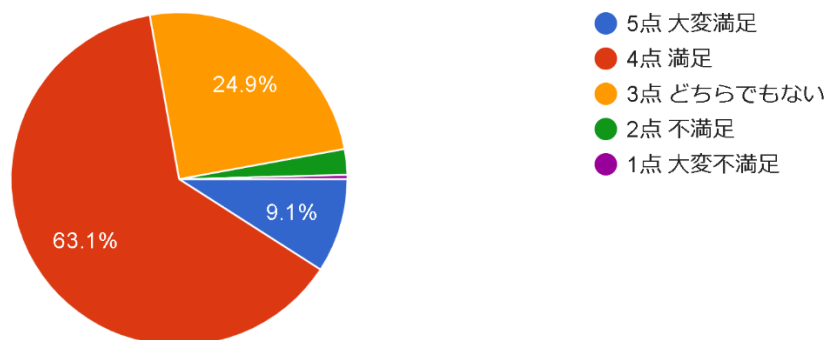
[以下、各 1 名] 医師、児童厚生員、子育て支援センター長、子育て支援センターの支援員、地域子育て支援拠点と子育て世代包括支援担当、放課後児童クラブ支援員、子育てアドバイザー、子育て支援者、社会福祉士、社会福祉従事者、研究職、行政書士、臨床心理士、ベビーウェアリングコンサルタント、ベビーシッター、クリエイター、デザイナー、保険の営業、自営業、看護学生

質問4. 本日は、どの地域からご参加くださいましたか。

241 件の回答



質問5. 本日の講座の満足度は、5点満点のうち何点でしたか。1つお選びください。
241件の回答



質問6. 「質問5(満足度)」でそう思われた理由をお聞かせください。

※立場は、主なもの1つを選んでいきます。

【5点 大変満足】

《行政関係者》

- 双子さんの子育ては大変なのでサポートが必要とは、わかっていましたが、より、現在国からどのような補助金がでている状況なのかや、サポートの必要性や、必要なサポートのポイントがわかり、勉強になった。
- コロナで全く研修に出席することが出来ない中、オンラインで参加する事ができたので。
- 地方でも研修会に参加でき、補助金等の最新の情報が聞けたこと。
- WEB開催で参加しやすかったです。
- 厚生労働省の方の貴重なお話を聞いて、大変参加になりました。
- 多胎支援について最新事情を知ることができたため
- 私たちが多胎ファミリーをサポートするための方法がよくわかりました

《医療関係者》

- 大変わかりやすかったです
- オンラインで参加でき、講習の為移動する事なくダイレクトでお話が聞けて、とてもよかったです。所属の市では、年間多胎1から2件程でどのように支援して行くべきか迷うところがありました。隣の市と合同出来るということは当事者達もいろんな人と関わりがもて、不安や情報共有もできることだと思います。
- 国の支援の方向が分かった事。質問を通して同じ悩みや疑問を持っている方がいることを知れた。

《民間子育て支援団体関係者》

- 多胎家庭への支援をファミサポで行う時間は、親さんの負担は軽減するものの、本当の意味での多胎子育ての大変さは、お子さん1人対サポーター1人で支援するだけでは、なかなか共有できていないように思う。毎日でも長時間でも利用したいほど、親さんの疲労感を感じるが、利用料の負担が課されて難しい現実がある。多胎育児の理解者のピアサポートの研修や多胎家庭同士の交流会などの支援の仕組み作りについて国や自治体の予算がついている事を知り、期待できると思いました。
- 漸く国が子育て支援に関して力を入れてくれたのだと実感した
- 多胎妊産婦の支援の市区町村の今後の事業展開について知ることができた。
- リモートではありましたが、直接、国の担当者の方から事業説明を聞くことができ、大変参考になりました。
- 多胎児の状況と、行政への対応の仕方など教えていただきました。

- ホームスタート(家庭訪問型子育て支援)の活動に参加させていただいていますが、行政的な視点や様々な支援、補助金について、知らなかったことを知れたので良かったです。さらに知りたいと思えました。
- NPO 団体所属の支援員です。自治体に、この事業へ取り組んでいただくためのアプローチを積極的にしていくことが大切と伺い、今後も継続しようと思いました。国からの補助金があることは、そのニーズの高さを国として認めていることであり、自治体からも、今までとは違う反応があると期待して取り組みます。今回のお話が自治体の方々へ強く届いていると良いなと思いました。
- 多胎妊産婦の対応について20年活動をしてきてやっと実現できると感じた。

《多胎支援団体関係者》

- 分かりやすく、明確な内容だった
- 冒頭の布施教授の多胎家庭についてのまとめが端的でわかりやすく大変参考になった。

《多胎家庭の方》

- 短時間で分かりやすく内容がまとめられていた。多胎家庭当事者の辛い思いが国には伝わっていることを確認でき、有り難かった。
- 初めて参加してみて、多胎家庭における支援の必要性を改めて感じる事ができたからです。

【4点 満足】

《行政関係者》

- 多胎育児の課題や支援について整理されていてわかりやすかったです。厚労省の方の説明については、もう少し詳しく知りたかったです。
- 限られた時間で、多胎支援の必要性、支援法方などの情報を沢山得られたため。
- 補助金の内容は把握していたので、事業を実施している市町村の話を機会がありましたら伺いたいと思います。
- 多胎育児支援団体や厚労省担当者から直接の説明を受けることができたため。
- わかりやすかった。
- とても勉強になりました。もう少し多胎支援の実例等があるとイメージがわきやすいかなと思いました。
- もう少し具体的な事業などの話を聞きたかったです。
- 開催していただき感謝しています。時々、声が聞きづらい場面があり、残念でした。
- 簡潔でわかりやすかったです。
- 多くの勉強会、講演が中止になる中、貴重な情報源でした。時間が短く消化不良で残念でしたが無料ですし良かったです。
- 多胎サークルへの情報提供
- 来年度から産前産後ピアサポート事業を開始にあたって確認になりました。
- 国、県からの通知のみよりも、自分の認識を確認できた。
- 国の補助制度に即した事業効果の説明もありよかったですと思います。また、もう少し質疑応答の時間があればよりよかったですと思います。ありがとうございました
- コロナの時期なので、移動しての講演会への参加が難しかったので、WEB 講座は良かった。
- もう少し具体的な話が聞きたいです。
- 子育て支援センターに勤務しているが、時々多胎児親子が遊びに来てくれていますが、どのような支援ができるか？いつも悩んでいた。
- いろいろな情報が得られたから。
- オンラインで受講出来たのでとても便利だったため
- これからの事業構築の参考になりました
- これまでより少し状況が分かったので
- もう少し事業の内容について詳しく聞きたかったです。
- もう少し時間が欲しかったです
- わかりやすかったです。仕事へのモチベーションがあがります。
- 具体的な事例を聞けたため。

- 具体的な取り組みがイメージできた。多胎育児の育児環境の厳しさの根拠が知れた
- 具体的な話であった
- 具体的にやることが見えたため
- 具体的事例がもっと聞けるとありがたかったです
- 具体的補助要件等が分かった(できるところから取り組んでよい)
- 現在、双子の支援体制の強化を検討中であるため、気になっているトピックであったため。
- 現在もサポーター派遣を行っていますが、もっと多胎児に特化した内容にしていく必要性を感じていました。再度補助金等の内容を見直し、内容をより充実させていきたいと思えます。ただ、やはり多胎児の出生があまり多くはないため、どの程度取り組めるのかが不安ですが、取り組む必要性は非常に感じております。
- 厚生省の担当者様から直接お話をお伺いできた貴重な機会でした
- 厚生労働省の職員から話が聞けて良かったです。時間がもっとあればよかったです。
- 厚生労働省の方から直接お話や質疑応答が聞けたこと。
- 厚生労働省の方の話を直接、聞くことができたこと。
- 厚労省の担当者の率直な声が聞けて良かったです
- 厚労省の方の講演など、多胎支援について学ぶことができたため。
- 厚労省担当者の方の話を聞くことができたから
- 国の動向も含めて簡潔にまとめられた内容であったため。
- 今後、ピアサポート要請など具体的な内容の研修に参加したい
- 今後の支援に役立つため
- 市民ニーズを把握したうえで、まずはできる範囲での事業実施を検討してもいいことがわかったため
- 支援していくなかで感じていた多胎家庭のニーズにどう応えていけるかのヒントをもらいました。行政の具体的な実践例をもっと聞きたかった。
- 支援の重要性がより理解できた。
- 事業イメージがついたから
- 事業の内容について改めて確認出来て良かったです。
- 事業概要や実際の事例が参考になった。
- 事業展開のイメージができた。
- 事業背景が分かった。
- 時間が少なかった
- 時間通りに始まらない、機器の操作に不慣れで見ているもやもやした。
- 時間的にも集中して聴ける時間だったし、内容も分かりやすくよく理解できた。
- 質疑応答では双方向のやりとりができないという難点はありませんでしたが、コロナで大変な時期にウェブ講座という新しい試みをされ、事業内容について学ぶ機会をいただけたことは大変ありがたかったです。
- 質疑応答の時間がもう少しあると嬉しかったです。
- 取り組んでいきたいと思えたため
- 親しみやすい
- 制度の概要がわかったため。詳細についてはQ&Aにて期待している。
- 双子育児経験協力者の確保が難しい。
- 他市区町村の事例提供や質疑応答もあり、事業へのイメージがつきやすかった
- 多胎関係の講座を受講する機会がなかったので勉強になった。
- 多胎支援の現状が理解できたが、具体例を沢山例示してほしかった
- 多胎妊産婦の現状と課題、事業概要説明がわかりやすかったです。
- 多胎妊産婦支援について知れた
- 多胎妊産婦支援の全体像がわかった
- 多胎妊産婦の現状と事業概要、今の他の自治体の状況を知れたため
- 短時間でよくまとまっていた。

- 短時間で要点がまとまっていたから
- 土曜日で都合がつかず、参加が遅くなったため
- 当市では既存で双子交流会はありますが、妊娠期から支援できるピアサポート事業などの具体的なイメージがついたので。(交流会に参加する母たちの多くが「妊娠期から出会いが欲しかった」との言葉が聞かれたため)
- 必要な情報だったが、もう少し実践的な話を聞きたかった。
- 勉強になったが、もう少し事業の具体例を知りたかった。
- 補助金について参考になりました。
- 補助金のことが知れたので
- 補助金の新設は知っていましたが担当者の話が聞けて再確認できた。
- 本年度より母子担当になり、本事業の内容を理解できていなかったのが勉強になった。
- 無料の zoom 研修、ありがたいです。大卒の総論という感じでしたので、具体的な取り組み例やイメージをもう少し伺いたかったです。
- 事業内容が理解できた
- 概要が理解できた
- 産前産後サポート事業における多胎妊産婦支援拡充について実例も挙げながらの説明を受けて概要がよく理解できたので。
- ガイドラインだけでは、詳しい内容が分からなかったのが、来年度事業の展開に役立った
- サポートの実際を知ることができたので。
- 多胎支援について予算が付き、今後大きく動きがありそうだということがよくわかりました。モデル事業のようなものがあれば、詳しく教えていただけたら、より参考になったと思います。
- 多胎親の会が数年前まで地区にあった気がしていたがなくなった？ので気になっていた。具体的に厚労省がいまある産前産後サポート事業へ多胎への支援に動いていることを知ることができたので
- ウェビナーで参加する形
- 補助金について、また各自治体の事例をより詳しく知れたらと思いました。
- 今回ご説明頂いた事業について知らなかったのが、多胎児の家庭の負担が軽減されるのはいいと思いました。こうして、公的な支援が行われることになったのは、多胎児を育てる親の声を行政などに働きかけてくださった協会の方たちの力も大きいと感じています。
- 小さな町での対応についても触れていました。多胎児が少ないから無理と諦めずに、対応を考えたいと思います。

《医療関係者》

- 国が多胎児支援を強化し、予算をつけたことは知っていましたが、厚生労働省の方の話でその具体的な額や、複数の市町村が合同で活動しても良いことがわかり勉強になりました。これまでも市町村から「多胎児支援を始めたいのだけど、、」と相談されることがあったので参考にしたいです。うまく支援ができていない地域の動きや県のどの部署を動かせばいいか、など具体的な話をもっと聞きたかったです。
- あっという間に終わってしまった
- さきほど回答いたしました。
- サポートや補助金について知ることが出来た。
- すごく内容が濃かった。もう少しゆっくり聞けたらもっとよかったです。
- 貴協会が事業としていることが理解できた。多胎妊産婦への支援についての制度がわかった。
- 協会理事様や厚労相の方の話を拝聴できる機会は少ないため。
- 行政が事業を立案・実施する際のしくみを、支援する立場の者達が広く知る事で行政へ具体的な要望をする事が出来ると考えられるため、このように周知の機会の1つとして良いと思いました。
- 行政の動きを知ることが出来た。
- 国の流れを知れたので。
- 今回の新たな多胎支援事業の実施や包括支援の中での他事業との関係・連携について、もう少し具体的に理解したいと思いました。

- 今年度の新しい事業が具体的にわかった
- 事業の具体的な情報をもっと知りたかった
- 事業説明であり、具体的な部分がわかりにくかった。
- 質疑応答の時間がもう少し長いと良かった。
- 質疑応答時に音声聞き取りづらい場面(主催者様がわの設定の加減わかりませんが)があった為です。
- 多胎の方への支援について学習する機会を得られたこと
- 多胎支援に対する産前・産後サポート事業の概要がわかりやすかったです。
- 多胎児を育てる家族への支援の必要性と国での事業の内容を知ることができたから
- 多胎妊産婦への支援についての事業内容の概要がある程度理解できた
- 多胎妊娠家庭の現状とサポートについて考えることができた
- 当該地域での事業内容を確認するきっかけになった
- 当事者としては理解していることだが、行政などからの参加者には分かりやすい内容であったと思います
- 内容が、簡潔で分かりやすかった

《民間子育て支援団体関係者》

- もう少しお話をお聞きしたかったです。
- もう少し他地域で具体的に実施されている支援体制等の事例紹介をうかがいたかったから。
- 各市町村の取組をいろいろ知って市に提案したいと思ったから。
- 拡充の内容を詳しく聞くことができた。
- 具体的な質疑が良かったがもっと聞きたかった
- 厚労省の説明でもう一步踏み込んだ内容がほしかった。
- 行政(市の担当者)から多胎支援について補助金が出るという話を聞いていました。実際どのような内容にどの程度の補助金がつくのか、厚労省の担当者からお話を聞くことができ、理解できました。
- 行政の方からの説明があいまいだった
- 行政へのアプローチの仕方が知りたかった。
- 講演者お 2 人の話はそれぞれ素晴らしかったが、両者の講演内容に繋がりがみえなかった。例えば布施先生の身体、精神のしんどさに対して厚労省として公的支援としてどのように対応しようとしているか、といった具体的なつながりが読み取れなかった。
- 参考になりました。
- 事業内容をしっかりと把握できた
- 時間が短い。資料があったので、よかった。
- 助成事業の仕組みが分かったことは満足でした。さらに、民間の立場から出来ることなどを考えたいと思います
- 新しい制度のことを直接聞く事ができたから、具体的な事例を聞けなかったから(-1)
- 説明や質問に答えていただき事業についての理解が深まったので
- 多胎家庭について、知る事がたくさんありました。
- 多胎家庭に特化した予算ができたことが分かったから。
- 多胎児の家庭へ関わる事業に補助金ができるようになったことがわかりました。
- 多胎児家庭の支援が必要であることの確認ができたこと。国の産後ケア事業の中に多胎児家庭枠ができたことを知ることができた。
- 多胎児家庭への支援について、理解を深める事が出来た。

《多胎支援団体関係者》

- 具体的でわかりやすい質疑応答だった
- Wi-Fi の環境で 雑音が入り 聞き取りにくいところがありました 🗣️
- これからの支援として、行政がきちんと、準備をしてくださっていることが、わかりました。
- 活用できる制度や国や自治体からの助成についてよく理解できたから。
- 厚労省のお話しがもう少し具体的に聞きたかったです。後日の Q&A で他市の実施案について知りたいです

- 行政関係者向けの情報を聞けたので。支援事業をしてほしい、とアプローチするヒントになった
- 講座の内容は資料を見ればわかるものが多かったので、質疑応答の方にもう少し時間をいただくと良かったと思います。
- 昨年より地域自治体と4月スタートの多胎支援事業の内容等の協力の話し合いを進め事業委託等の実体的な活動に向けての準備中でしたが、コロナの影響で行政ともども休止状態となっております。しかしながら、この事業の中で何がどこまでできるのか(国の事業に含まれるのか)いまいち理解してないまま進んできましたが、今日の講座に参加して随分理解できました。たぶん地域自治体(保健師)もそうではないかと思います。この話を踏まえたうえで再度地域で話ができると思います。今日持ち越しになった人件費(サポーターとして動いてくれる人たちの)等々も含め、もう少し細かな内容がわかればと思います。
- 自分にもできることを考えようと思いました
- 助成について細かく知ることができた。
- 多胎支援についての補助金について、その利用方法について理解できた
- 多胎支援の必要性がよく理解できる内容だったと思う。
- 多胎支援事業についての行政からの支援について情報が得られたから
- 短時間だったので、もう少し質疑応答の時間がほしかった
- 短時間でやむを得ないと思いますが、実践例などの話がもう少し、詳細に聞けると良かった、行政とどのようにつながって、活動できるのかなど。
- 普段の講演会等で出て来ないような質問等、ネットならではの情報が新鮮でした。
- 補助金の詳細(ピアサポ人件費、交通費、お祝い用のオムツやミルク、などなど)ご提示頂けると助かります。独自財源を捻出できない地域に関しては実現する事が難しいため、地域格差が生じる事に対処していただきたいが、国としてはどうお考えなのか伺いたいです。意識のある行政担当でなければ多胎支援を実現できません。地域のサークル団体が懇願し必要性を感じ始めて実現する事が可能となる地域が殆どです。多胎サークルすらない地域の方が多いです。この支援を実現する為にどのような道筋で行くべきか教えて欲しいです。

《多胎家庭の方》

- 制度の概要は理解できましたが、詳細の説明も他の方の質疑応答ももう少しお聴きしたかったです。
- 事業内容のあらましや全体像が理解できたのは良かったです。また、布施さんより、ピアサポーターに関する見解をお聞き出来たのも良かったです。まだ始まったばかりの事業なので難しいですが、各自治体での具体的な取り組みについても知りたかったので、4点としました。

【3点 どちらでもない】

《政関係者》

- 支援すべきことや、必要性は十分にわかっている行動につなげるのが難しいです。
- 時間はちょうど良かった。オンラインで参加しやすかった。具体的な活用イメージなどの内容が盛り込まれていると良かった。
- WEB 講座の受講が初めてで、不慣れなもので質問があっただけできなかった。45分はアツという間だった。1H 位はあっても良かったかなと思います。もっとお話を聞きたかったです。今後もお願ひしたいです。
- Web 講座を受けるのは初めてのため講座が半分しか聴けませんでした。
- コロナかにおける事業活用の工夫をお聞かせいただきかったです。
- さらに具体的なことを知りたかったから。市町村の取り組みや事業活用例など。
- しっくりと事業の理解につながっていないため。
- ズームがときどき音声は切れ、大事なところが聞こえなかった。質疑応答が概論的で分かりにくかった。
- もう少し具体的な支援方法が聞きたかった。
- もっと具体的な内容を期待していました
- もっと具体的に聞きたかった。
- 概要の説明だったので、資料で十分だったかと思います。もう少し踏み込んだお話を聞きたかった

です。

- 概論的なことが多かったので、もう少し具体例を出していただけるとよかったですと思います。
- 各事業の先進事例などもう少し聞いてみたい。
- 既に知っていた情報が多かった
- 期待していた内容と違った。制度ではなく、実際の支援方法について、詳しく聞きたかった。
- 具体的な国からの事業費の使い道など示してくださると参考にして取り組みやすかった。
- 具体例が知りたかった。
- 行政保健師としては既知の内容も多かったのと、時間が短くて物足りなかった。
- 事業の具体例をもっと聞けると、イメージがつかみやすく、これならできるとか発案しやすいと思いました
- 時間が短く、申請例を多く紹介して欲しかった。
- 実践例や具体例について、もう少し拝聴できたら嬉しいです。
- 実態がもっと知りたかった
- 新しい情報がすくなかった
- 新しい内容なかった。
- 新鮮な内容はなかったのですが、改めてコロナ禍での多胎児への必要性を感じました。
- 進行に関して少し慌しかったです。内容はとても良かったです。
- 先進的な他市町村の取組についてももう少し説明をしていただきたかった。
- 他自治体の具体的な取組案を知りたかった
- 多胎のサポートが必要と感じました。しかし 1 保健師が具体的に、どう動いたら実践できるのか、どう推進していけばよいのか、教えていただけるとより良かったです。
- 多胎支援についての考え方は理解できた。しかし、当自治体は従来の産前産後サポート事業の中で、ピアを活用した交流会(デイ型として)や相談支援(アウトリーチ型)を行っていたので、新たに創設されたはいいが混乱している。相談(より深い)は従来産前産後サポート事業、交流は今回の多胎ピアサポートで行い、生活支援は多胎妊産婦サポーター等事業で行う整理でいいのかが整理できていない。要所要所で音声途切れていたのが聞き取り切れない部分があった
- 多胎支援の必要性は理解していることと補助金に関しても通知等で事前に情報収集しているため、既に得ている情報であったから。
- 多胎妊産婦支援メニューの具体的な事例を期待していた。
- 知っている情報がほとんどであったため、具体的で有効な支援方法などが知りたかった。
- 途中からの参加になってしまったから。
- 内容がとても参考になりました。短い時間でしたが支援の必要性を感じ、厚労省の方の説明もいれていただけて本当に良かったです。とても有意義だったので、もう少し詳しく事例などの話もいれていただければさらに学びが深まると感じました。
- 内容が難しかった。現状のケアなどが知りたかった。
- 補助内容については、補助要綱等で知っていたので
- 要項通りの説明であった。

《医療関係者》

- 早口で聞き逃してしまったかもしれませんが、産前産後サポート事業の紹介のみで新たな情報が得られなかった
- 何度も試しましたが視聴できませんでした。
- 具体的な支援方法も知りたかった。
- 成功例や失敗例等も含めた実践的な話も入れ込んでもらいたかったため。
- 多胎支援事業支援の活動について知ることができた。
- 地域の NICU で勤務していますが、具体的なイメージがあまり湧かなかった

《民間子育て支援団体関係者》

- 多胎家庭については、ホームスタートまんなかの活動の中で、ある程度の予備知識があり特に新たな知識や情報は少なかったが再確認できた。余談になりますが、この講座の案内をいただいたことで市の保健課に声をかけるきっかけをいただき、多胎家庭支援を協働していくことについて保健課と

話し合いが持てました。初めの一步です。保健課にもこの講座の案内をさせてもらったので、私も参加させていただきました。

- 事業については理解出来ました。
- 大きな制度の説明のみだったから。もう少し直接どんな話をしているか聞きたかった
- 施策の情報提供だから

《多胎支援団体関係者》

- 厚労省の事業内容は知っていたのですが、もっと掘り下げたものを期待していたから。(自治体の保健師さん、医療関係者へ向けての講座としては良かったと思います。)
- いち多胎支援者としてどのような事が可能か？具体的な例を挙げて欲しい。
- せつかく国の予算がついても実施するか否かの判断は各自治体に委ねられる為、各都道府県によって支援の手厚さの差が出るのではないかと懸念しています。
- バタバタしていて聞きづらかった、早口で理解できないところがあった
- ピア相談やサークル活動はすでに行えている内容だった。お金の使い道がよく分からなかった。
- もう少し時間が長くて良かったと思いました。
- 厚労省から実際自治体からどのくらい申請があるのかなどな詳細な報告があったらよかった
- 私たちの立場ではあまり意味がなかった。もっと行政側が聞いてほしい内容だった。
- 資料を見てほしい理解してはいたのですが、後半音声が小さくて質疑応答のお話が聞き取りにくかったので普通にさせていただきました。
- 多胎家庭が抱える育児の大変さが第三者に伝わる資料になっていなかったように感じました。もっと具体的な数字を多く出した方がよかったように思います。

《その他》

- 自治体における先進的な実践例について、あえて自治体名をあげられていなかったのは何か理由があつてのことでしょうか。ご紹介いただければ Web 等でさらに情報収集したり、参考にしやすかったかなと思いました。また、もう少し時間が長い方がよかったように思いました。

【2点 不満足】

《行政関係者》

- 一般論のみで、あまり新しい発見や学びが得られなかったため。
- もう少し多胎家庭の現状や実施市町村の具体的な取り組み事例等について聞かせてほしかった。
- 新たな情報はなかった。
- 知っている内容だけだった

《民間子育て支援団体関係者》

- 短時間すぎ、資料を見ればわかる事ばかりだった。特にサポーター事業の具体的な施行方法を聞きたかった。ホームスタート、ファミサポとの違いなど・近いうちに第2回目の講座を期待します。

《多胎支援団体関係者》

- 駆け足で、内容がなかなか伝わりにくかったように思った。行政担当者が半笑いで答弁するのにも違和感を感じた。こちらは真剣に多胎ファミリーを支えていこうと考えているため、少し残念であった。参加費をとっていただいても良いので、もう少し余裕のある講座にさせていただきたかった。

【1点 大変不満足】

《行政関係者》

- すでに周知の内容であったため。

質問6. 今後の多胎支援事業(活動)へのご提案、今後受講したい内容、当協会に期待されること、その他メッセージなど、ひとことでも結構ですので、ご自由にご記入ください。

《行政関係者》

- 15年前から多胎児支援のため交流会を実施しています。保健センターで保健師が実施しているのでマンパワー事業なのでお金はかかりません。少しでもふたごのママがホッとできる場を提供して行きたいと思います。
- 24時間対応可能なサービスを知りたい
- ウェブ会議は私自身初めてでしたが、非常に分かりやすく見れました。ありがとうございました。
- オンラインでの開催ありがとうございました！
- オンライン研修自体は続けてほしいです
- オンライン受講助かります。ありがとうございました。
- ぐたいてきでわかりやすかった
- このような機会を設けて頂いてありがとうございました。
- この形式だと遠方でも参加しやすいです。
- サポーターへの研修内容
- サポーター事業の具体を知りたかった。
- ズームでの講演会は初でしたが、コロナ禍の中なので安心出来て良かったです。
- ズームに慣れておらず、示された URL を開いた後、講座名やメールアドレスなどを入れるのが分からず開始時間に間に合うか心配でしたが、無事に入れてホッとしました。コロナ下でも、こうしてタイムリーに多胎支援について最新の情報が得られたのは非常に有意義でした。ありがとうございました。
- セミナーなどに参加したいと思います。ありがとうございました。また遠方からだとなかなか参加が難しいのですが、このような形で専門家の方の意見がお聞きできるのは本当にありがたいです。
- ネットでも他市の多胎支援に関して情報収集していました。今年度からの補助金事業でもあり、情報が少ないのはわかっているのですが、複数の具体的な事例について情報提供いただけると参考になったかと思えます。講座ありがとうございました。
- ピアサポーター養成研修を受講してみたい
- ピアサポーター養成講習など
- ピアサポーター養成講習会のメニュー(派遣してくれる講師や講座内容など)を HP などで教えていただけるとありがたいです。
- ピアサポートがなかなか進まないのは、実際の子育てが大変で余裕がない状況だからだと感じます。まずは、サポート体制をしっかりと整える必要があると思います。
- ピアサポート事業のサポーター研修などは聞いてみたい。また、サポーター事業は母子保健部門と児童福祉部門の役割分担が難しいと感じている。他自治体の事業運営の具体例など聞いてみたい。
- ピアサポート事業の具体的な取り組みをさらに紹介してほしいです。
- マイノリティ支援に動き出したのでこれからも情報の収集と発信をお願いします。
- もう少し踏み込んで教えていただけると嬉しい
- リモートでの講義、大変参加しやすかったです！今後もこういった形が参加しやすいです
- 遠方へ講座を受講しに行くのはやや負担があるので、今回の WEB 講座は気兼ねなく参加できました。ありがとうございました。
- 各自治体がどのような事業を展開し、そこにどのように補助金を活用しているか知りたい
- 各自治体などの、具体的なサービスなどを知りたい。
- 各自治体における取り組みの紹介・とりまとめなどがあれば、今後情報提供していただきたい。
- 官民間わず、情報の発信。活動を応援します。
- 看護職として多胎の妊娠から出産、育児の基礎、実際を再度学びたい
- 頑張ってください
- 機会がありましたらぜひまた講座等に参加させていただければと思います。
- 協会からの新しい情報のメールで配信
- 近くの多胎ネットの方と現状について話をしたいと思った

- 具体的な育児スキルの説明を聞きたいです。同時入浴、同時哺乳、洗い物を少なくするコツ、安くて楽な離乳食の作り方や食べさせ方、多胎児の育児に必要な実際の情報が知りたいです。医学知識はあるので。
- 具体的な支援内容
- 具体的な取り組みの紹介
- 具体的にどういう内容をされているのか知りたいです
- 継続していくことが重要だと思う。
- 研修、気に入りました
- 研修を開いていただきありがとうございました。またこのような研修形態ですと参加しやすいと思いました。
- 研修会等の継続実施
- 県からのチラシで開催を知りました。今後も HP など参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。
- 現在、豊中市のファミサポでは、多胎児は、保護者の家で見守りをおこなったり、検診に付き添ったりしている。他にも展開ができることがあれば検討したいと思った。今日講演にあった、市町村が行う支援の直接的な活動は、できないが補助的なサポートができないか、金銭的な補助などの必要性にも訴えていきたい。
- 孤立させないために、様々な機関が支援メニューを考えることが大切だと感じます。
- 厚労省の方の直接話を聞いて良かったです。これからもこう言った機会を設けていただきたいです。
- 行政として既に多胎支援団体と協力関係にあり、今後もより関係を深めて多胎児家庭の支援に尽力していきたい
- 行政の取組の参考になる多胎支援の好事例等の情報提供をお願いします。
- 国とタイアップした研修会など
- 今のところ特にない
- 今回、日本多胎児支援協会の HP を拝見し、全国の多胎児サークルのページには、活発な活動をされているところもあり、刺激を受けました。コロナの影響を受け、色々な活動ができない中、オンラインで試行錯誤しているところなど、参考にさせていただきたいと思います。
- 今回のような web 講座を含め、自治体・関係団体などへの情報発信・共有を希望します。
- 今回の厚労省の説明はとても良かったです。時間が短かったので、次回もお願いしたいです。
- 今回の続編の研修を希望します。これからも研修の企画をお願いします。
- 今回の補助金を実際に活用した事例について知りたいです。特に他市町村と連携して実施したり、都道府県が協力してくれた事例などがあれば知りたいと思いました。
- 今回初めて受講させていただいたが、今後も案内があれば受講したい。オンラインでは、長い時間だと集中力が途切れるので、今回のような時間が適切だと思う。
- 今後、ピアサポーターの育成を検討したいので、研修を受けたいです。ありがとうございました。
- 今後の貴協会のみますますのご活躍をお祈りしております。
- 今後は多胎支援活動の具体的な方法(病院と行政の連携方法など)があれば受講したいです。
- 今後も、支援者側や行政の考えや情報を直接聞く機会を作ってもらえるとありがたいです。また、併せて当事者の声も聞ける機会を作っていただけたらなと思いました。今回は WEB 研修の形だったので、参加しやすかったです。貴重な機会を提供してくださり、ありがとうございました。
- 今後も web による研修を実施していただきたいです。本日はありがとうございました。
- 今日を受講させていただきありがとうございました。また新しい情報等に関する研修受講機会がありましたら受講させていただきたいです。
- 再度、このような研修の場を設定していただけることを期待します。
- 市町村での多胎家庭の具体的な支援施策
- 支援の具体例と効果
- 支援者としての知識講義を受講したい
- 支援者向け研修会の開催
- 支援者支援を広めていき、多胎家庭がどの地域でも安心して子育てを行えることを期待します。

- 支援受ける側の声・要望をもっと反映した内容を希望します。
- 私どもの住む東京都武蔵村山市では、多胎児を持つママたちの会が本年 3 月に発足したとたんにコロナ禍で活動できず、7 月からやっと開催できました。実際に子育て中の皆さんからの声のまとまりに、行政を動かす力を感じています。
- 対象者が少ないので予算面でもさほど大きくならないことや、東京都が補助制度を創設したことで少しずつですが成果が出ています。単胎児の育児では、気付かない大変さをもっとアピールしていくべきと感じていることから、より多くの生の声を集め、困っていることに手を差し伸べる優しい社会になっていくよう願っています。ありがとうございました。
- 事業の詳細、多胎児支援の参考事業をおしえてください
- 事業の変更点や現状についての情報を得たいと思います。
- 事業内容についてもう少し詳しく知りたかったので、質疑応答の時間が短くて残念でした。質問；ファミリーサポート事業でサポーターがいますが、同じかたが多胎支援に携わることは可能でしょうか？補助金を出すのにどうなのか？多胎児の出生が少ないが、支援を受けたいニーズはあるので広域的に一緒にできるとありがたいが、とりまとめ等が難しいのかなと思っています。
- 事例を通し、それを伝える事により多胎の子育てを一緒に楽しみたい
- 自治体からピアサポーターになってくれそうな方を問い合わせたり、実際に活動しておられる方や、ピアサポーターとして活動したいと思っているかたと、話ができる機会があるとありがたい。また1市町村だけではなかなか動きにくいので、近隣市町と研修会ができるような研修設定。したいとおもっても都道府県たんとと課題の共有ができにくい
- 実際に産後ケアを利用するにあたり、多胎のためベッドコントロールが難しかったり、病院に行く時の付き添いがおらず、産後ケアの利用を躊躇される方がいます。他の市ではどうされているのか、共有できる場がほしいです。
- 実際に多胎の家庭の支援を行なっている中、中々対象者のニーズに合うものがなく、日々悩んでいます。交流会などしたいという思いや作ってほしいという意見もありますが、コロナや従来の事業で日々が追われ新規に立ち上げる余裕がないのが辛いです。研修自体はとても良かったです。難しいですがやってみようという思いに繋がりました。
- 実際の支援状況を知りたいです。今日はありがとうございました。
- 実際の事業運営状況について自治体の生の声を聞いてみたいです！
- 出生 40 人に満たない小さな自治体です。2~3年ごとに1組の多胎があります。小さい自治体だと多胎支援は、対象者が限られているため後回しになっていた部分があります。しかし、多胎である時点で要支援となるため、もったきめ細かな支援が必要だと思います。小さな自治体での事例等も紹介していただけるとありがたいです。
- 初めて zoom 研修を受講させていただきました。45 分間の研修でしたが、内容的に若干急ぎ足での説明だったので、シリーズでテーマを小分けしていただくのもいいかなとも思いました。なお、実際に取り組まれている様々な事例等もご紹介いただければと思いました。専門職の今後の研修企画の参考にさせていただきます。研修会の機会を設けていただきましたことに感謝申し上げます。
- 小さい市のため多胎児の支援はサークルに任せていたため、また多市町の活動例など情報提供していただきたい。
- 小さなまちですが、支援の輪が市町の壁を越えて繋がる事を期待したい。
- 小規模自治体では人材不足が否めない。人材確保等に関する支援を期待したい。
- 情報の発信
- 新しい取り組みなど紹介して欲しい
- 新生児訪問や妊娠初期の相談に携わっています。多胎支援については情報が乏しかったので、今後貴団体の HP や講座を通じて学んでいきたいと思っています。ありがとうございました。
- 制度設計の初産で多胎であれば、里帰り率が高く、子どもは長期入院率も高い。しかもそもそも、出生数が少なくなかなか市町村で多胎だけの特化した制度は組みにくいのが現実です。予算を市町村配分にはしていますが、県単位または保健所単位とし、県に母子保健担当の保健師がいるので、そこを活用してはどうでしょうか。もちろん市町村は単胎、多胎をとわず手厚い支援をしたいと思っています。研修は、自宅でオンラインで参加させてもらえて、2 歳の子どもの寝かせつけをしながら

聴けました。ありがたかったです。

- 先駆的な取り組みの紹介
- 先進地のサポート事業
- 双子の育児はイメージがつきにくいところがあるので、講座等で母親の負担を共有、軽減できるようにできたら良いと思いました。
- 他市の取り組みで良い事例があればおしえてほしい
- 他都道府県等で、活動されている方の具体的な事例等ございましたら、ご紹介ください。
- 多胎のママたちの交流は必要だし、大変さを共有し合えることで前向きになれるるので、そのような機会が増えればよいと思いました。
- 多胎の方の支援の実際について
- 多胎育児経験者ピアサポーターとする案を聞きましたが、サポートを受けた方は担っていただきやすいと思いますが、今まで無かった自治体の父兄が受けてくださるのはかなり難しく思います。まず産後のサポート、産後ケアを4ヶ月まででなく、1年にするなど検討課題は多いと思います。また、自治体だけでなく、多胎妊産婦が集まる周産期センターのスタッフの協力が不可欠だと思います。
- 多胎家族が望んでいる支援のあり方を知りたい
- 多胎家庭に特徴的な育児スキルの習得等について研修会を受けてみたいと思いました。
- 多胎家庭へのケア実践や困りごと等。
- 多胎支援には、多胎育児経験者と行政が連携する必要性を感じることができました。ありがとうございました。
- 多胎支援に限らず事業の隙間から落ちる人をなくして、子育て中の方へ必要な支援を届けられるようにしたいと思いました。
- 多胎支援の「当事者しかわからないこと」を行政の支援者がどう理解して支えていくかが課題と感じます。研修に触れると意識が高まりますので、少しでも多くの研修に参加していきたいと思います。ぜひ多くの研修を企画ください。
- 多胎支援のポイントやピアサポーター養成などアドバイスいただければと思います。
- 多胎支援の大変さは計り知れないと思いますので、支援の拡充を願っています。現場でも、より充実した支援となるよう努力していきたいと改めて感じました。
- 多胎支援への取組はこれからなので今後も情報提供をお願いしたいです。
- 多胎支援活動をされている自治体の成功事例等の紹介や、その自治体やピアグループからの活動報告を聞きたいです。
- 多胎支援事業の具体例(予算等含め)
- 多胎児サポーター研修会の講師派遣を行って欲しい
- 多胎児の母から交流会を希望する声もあり、よい機会となりました。ありがとうございました。協会の研修会や講座も受けてみたいです。
- 多胎児を育てた方から、困っていたことや、受けてよかった支援など、生の声を聞きたい
- 多胎児育児が、核家族でも健やかな子育てができるように、サポートシステムの充実が出来るように、広報活動や講演会を開催してほしい。
- 多胎児経験者の方のパワーにはいつも感心しています。行政の支援にも多々協力いただき本当に頭が下がる思いです。
- 多胎妊産婦のかたの、直接の声を聞きたいです。
- 多胎妊産婦への具体的な保健指導についての講座を希望します。
- 地域で多胎支援をしていくために、また参加させていただきたいと思います。
- 都道府県と市町村の連携等含め、先進事例を詳しく知りたい。
- 当事者との繋がり
- 当事者の経験談の講座、また行政支援がどのように役に立っているか聞きたい。
- 当方が務める自治体では本日紹介された事業は実施されていません。来年度以降取り組まれるという話なども一切聞きません。ですが、当方が担当する地区では多胎妊産婦のケースが多く年に2~3件は出生があります。このコロナ禍で双子を生み育てる過程は大変な苦労を強いられています。産後ケア事業の様に多胎妊産婦へのサポート事業も法定化されて欲しいと思っています。また多

胎妊産婦に地区担当保健師がどのようにサポートできるのか具体的な事例や技術について研修やセミナーを開催して頂きたいです。本日はありがとうございました。

- 独自事業の充実。なかなか行政では、限界がある。
- 2年前に旭川での講座を聞いてからすぐできる取り組みから手探りで始めました。少ない人口ながらも多胎児います。今年から「ふたご手帖」の配布も始めました。どんなことでもいいので発信してもらえると参考になりますので、よろしく願いいたします。
- 晩産化がすすみ(特に多胎は不妊治療が多いこともあり)42, 3歳以降の多胎母が珍しくなく、実両親の介護とダブルケアの問題も抱えるケースも見受けられ、気になっていました。また、夫・義母も多胎を持つことの大変さの理解がなく、生後6カ月ですでに離婚調停中のお母様も。皆様の活動が多くの母子の支援につながりますようお願いしております。
- 分かりやすい資料、ご説明ありがとうございました。
- 保育士対象の講座、
- 本日はありがとうございました。多胎児支援の必要性は誰もが理解するところですが、研修でもあったように母数の少なさや費用対効果の面で事業化の難しさがあります。多胎ピアサポート事業は実施しやすいと思いますが、多胎妊産婦サポーター等事業は、サポーターの担い手育成や質の管理など、長期的な視点をもって取り組まなければならず、要保護児童対応の比重が大きくなる中、解決すべきステップがありそうです。協働事業として委託も視野に進められたら良いと思います。
- 本日は貴重な講座をありがとうございました。ぴあサポーターの育成に関する研修等を詳しく知りたいです。
- WEB 講座のハード面の整備をお願いします。
- 本日は誠にありがとうございました。
- ありがとうございました
- ありがとうございました
- ありがとうございました
- ありがとうございました。
- ありがとうございました。
- ありがとうございました。大変参考になりました。
- ありがとうございました。ミュートで聞こえないところもあったので残念ですが、家でも参加できてよかったです。
- ありがとうございました。参考にさせていただきます。
- いつもありがとうございます。多胎のご家族は増えているという実感があり、対策については急務と思っています。多胎支援協会様のリーフレットも利用させていただいており、早期からの介入に役出させていただいております。今後とも、様々なコンテンツの配信をお願いいたします。
- 未回答

《医療関係者》

- オンラインでの講義にとっても有用性を感じています。
- お世話になっております。日本多胎支援協会の資料は、分かりやすく、まさに母親の気持ちを代弁していると思います。私も、多胎家庭支援に向けて日々勉強していきたいと思っております。
- このたびは貴重な講義を受講させていただきありがとうございました！またぜひオンラインを活用し勉強会など開催していただけたらうれしいです
- このような機会を作ってくださいありがとうございます。是非また、実践例がありましたら紹介していただけたらと、思います。
- せっかく授かった赤ちゃん。みんな(家族、地域も含めて)が幸せになるように、支え合って、育てていきたいですね。
- ピアサポートや家事等のサポートを担う方の質の担保とマンパワーの確保が重要だと思います。
- まずは、現在勤務している周産期センターの卒業生の支援という形で、周辺の複数市町村を巻き込んで勉強会やピアサポートをやりたい。その際にわからない点があれば、多胎支援協会に相談します。コロナ下で虐待が増えていると聞いていますが、外出自粛の間の多胎児家族の困りなど聞きたいです。

- また機会があれば勉強させていただきたいです。
- 医療施設と行政の連携、ピアグループとの連携等もう少し具体的な支援が目に見えるような研修
→抽象的で申し訳ありません
- 医療従事者向けの講習
- 一番取り掛かりやすい支援として、交流会の実施と思われるが、協会さんが出している研修にもあるが、多胎ファミリーの運営講座
- 看護職向け講座 その後看護職に広める活動や講師に興味があります
- 貴重なお話をありがとうございました。当団体でも自治体に働きかけていますが、より良いアプローチの仕方を学べる機会があると良いです。
- 研修会等の情報
- 現在、行政から委託された産後ケア事業を担当したり、周産期メンタルヘルスケアを中心に行う訪問看護ステーション(東京都渋谷区)で働いております。多胎家庭は、母親のメンタルヘルスケアが重要であり、母親だけでなく、児のケア、きょうだいのケア、父親のケアなどを継続的に介入するためには、従来の産前・産後サポート事業や産後ケア事業、数回だけの産後訪問だけではカバーできないことを痛感しております。今後、多胎支援の輪が広がることを期待しています。
- 講義をやる段取りが悪く、聞いていてあまり内容が頭に入ってこなかった。話をもっと簡潔に述べてもらいたい。
- 今後の研修も zoom で遠距離でも受講できるようにしてほしい
- 産後ケアは今回、多胎ママに特に枠が広がることはなかったのですが、現状では産後 1 ヶ月までが、申し込みの時期ですが、1 ヶ月必死の思いで過ごされた方に、ゆっくりレスパイトしてもらえるように、産後 3 ヶ月までに枠を広げてつかえたら、また、子育てに意欲をもってとりくめるのでは？と思います。上の子も誰かに見てもらえるように保育所の充実も必要かなと思います、産後ケアを使えないなら、せめて、上の子を 3 ヶ月くらいまで、保育所で無条件であずかり、保育所の送迎はファミリーサポーターを利用するか、少し休息が取れるように配慮していくことが、必要かと思います。小規模保育園など使えたら、レスパイトも可能になるかと思います、コストは所得に応じて考えることも大切かと思います
- 子育て支援自体が、まだまだ充実が望まれる状況ですが、多胎児支援はさらに急務であると思われます。様々な方法で、様々な人々へ多胎児含む、子育て支援の必要性が啓蒙されていくことを願っています。本日はありがとうございました。
- 質問にもあがっていた、行政に協力していただくための具体的方策が知りたいです
- 実際に、どんな事業が地域で行われているか？また、支援はどの程度、主にどんなことが実際に行われているか？知りたいです。
- 助産師など病院での支援としてどのようなことが必要なのか具体的に学びたいです。本日はありがとうございました。
- 専門職向けの講座をオンラインで開催してほしい
- 多胎の状況は単胎とはちがう。公的なサービスも単胎と同等では足りないということを訴えてほしいです。
- 多胎育児家庭を妊娠期からサポートできる体制を整えたいと計画しています。今年度、可能であれば、「妊娠期からの多胎ファミリー教室運営講座」を受講し、ピアサポーターの養成に取り組みたいと考えています。
- 多胎支援の具体的な方法についての講座を受けたい。多胎育児経験者の声を沢山聞きたい。
- 多胎支援を実際に行われている市町村やNPO等のお話を聞いてみたいです。
- 多胎支援を実際経験する機会がなかったので、ピアサポート事業などを通して多くの対象者の声を聞いていきたい
- 多胎児の保護者の就労について
- 多胎児支援は国を挙げてどんどん取り組んでいって欲しいと思っています。各家庭のニーズに細やかに答えられる柔軟な支援が広がることを期待しています。介護保険でヘルパーさんを利用できるように、多胎児家庭の家事育児支援やお出かけの手伝いなどをサポーターさんに依頼できるとよいと感じました。

- 多胎妊産婦サポーターの受講や、受講後サポーターの養成などができたら
- 多胎妊産婦の支援に関する医療従事者向けの講座に参加したいと思います。
- 対象者のニーズを具体的に知りたい。児の成長に伴ってニーズ変化があると思います。
- 町田市に在住で、先日も双子ちゃんの不幸な事件がありました。周りはサポートしていたという認識で、でも事件が起こったということは、何かもっとアプローチの仕方があるのではないかと考えています。いち地域助産師ができることについてもっと知りたいです。

《民間子育て支援団体関係者》

- Web を活用した講座は受講しやすいです。
- ありがとうございます。
- ありがとうございます。このセミナーで学んだことを今後の支援にいかせればと思います。
- このような機会を設けていただきありがとうございます。多胎家庭への理解が深まるよう応援していきたいです
- しずおか多胎ネットさんにご協力いただき、子育てひろばで多胎のおしゃべり会を開催しています。それをきっかけに通常ひろばにも来場する姿が見られます。市では産後ケアとして産前産後の家事育児支援に補助がありますが、1 才になるまでで、多胎家庭の大変さを考えるともう少し期間が延長できないかと思っています。
- ベビーシッターや子育て支援者への講座や修了書が欲しいです。勉強したとアピールにもなりますし、何より多胎児さんご家族が安心してご利用してくださるとと思います。
- ホームスタートでも多胎家庭の利用は結構あり、多胎家庭の育児の大変さを身近に感じています。多胎家庭支援協会さんの知識と経験をホームスタートにもいかせて頂けるように連携できるといいですね。すでにそのような取り組みがあるのかもしれませんが・・・今後ともよろしく願いいたします。
- ホームスタートで多胎児家庭を訪問してきたが、他の多胎児家庭との交流できる受け皿がなかったため、先月から双子ちゃんサークルを立ち上げた。その運営をする上で改めて多胎児家庭の持つ悩みを確認できた。また、市担当者に働きかけて安定した運営ができるように産後ケア事業の一つとして行えるようにしていきたい。
- また機会があれば、参加したいです。
- ミルクの支援に関して、液体ミルクが多胎家庭の負担軽減にとっても役立つアイテムだと思いました。ポケットブックの案内の下部にあるマタニティマークは厚生労働省から新しく発表されたのですか？多胎家庭向きのものがあればと、以前から考えていましたが元デザインを加工は（ネットでは不許可で加工しているのがあります・・・）NG と聞いていたので、オープンに使える素材ができたのは嬉しいです。
- 何処の地域にいても同じように多胎家庭への支援が受けれるようになれるといいな。
- 核家族化に加えて、コロナにより人との接触もためられるようになり、ますます孤立感が高まっているのではないかと心配です。Yahoo 知恵袋のような、「多胎家庭限定知恵袋」があり、登録した多胎先輩ママが随時答えるようなページとか、あったらいいなと思いました。
- 今日はありがとうございました。皆さんの熱意と意思をとでも感じられる会でした。
- 今年度は、コロナ禍で月1度の「ふたごちゃんのひ」が開催できていません。支援したい双子育児中の核家族家庭にできる支援について、改めて前向きにいろいろ考えるきっかけになりました。早速、所属する認定 NPO 理事に伝えたり、行政(子育て相談室子ども家庭支援センターや健康推進課など)に相談したり行動にうつそうと思います。ありがとうございました。
- 支援をより知りたいので、もっと時間を長くしていただきたいです。
- 私たちの取り組んでいる双子・三つ子の会は参加者が県内外の方、妊娠期から80歳と広範囲である。
- 私共の支援センターでは多胎児への支援に力をいれております。スタッフにも多胎児保護者が多くおり、多胎児ママを何とか支援したい思いが溢れています。月に2度のサークル開催、電話・来所・メールはもちろん、チャットでの相談受付では悩んでいた生後1か月のふたごのママをみんなで励まし、具体的なスキルをお伝えでき、サークルにまで参加していただけました。(うちのスタッフすごいです) 多胎児育児には、とにかく「お手伝いの手」と「傾聴」が必要です。愛知の三つ子の事件を 2

度と繰り返すことのないような支援を一日も早く多胎児ママへ届けたいですね。御協会に期待しております。共に頑張りたいです！

- 質問があります。1、サポーター事業では家事支援もおこなえますか？2、産前産後の産後の時期は、いつまでですか？(1カ月or1年)
- 助産師・保健師向けに行われているような産前産後の母体の変化などの講座を資格を持っていなくても、多胎支援を行うものにも受けることができるような講座を開催してもらいたい。寄り添う者として、心身の変化など詳しく知っておきたい。(質問をされることもあるため)
- 商業施設の中にある子育て支援センターです。一昨年までは多い日で5組・6組のふたごちゃん・みつごちゃんをご利用してくださっていたことを踏まえて、昨年度後半は多胎児ママの集いの時間を設けていた。みなさん、楽しみにしてくださっていて、ぴあサポートがどんなに必要か痛感している。家庭への派遣サポートも必要、発達障害がうかがわれるお子さんもいっしょに、孤独にしないサポートが大事だと考える。ありがとうございました。
- 情報提供、巡回相談
- 絶対数が少ない多胎親子の支援、他親子への繋がりやをいかにひろげるかのヒントになればと思います
- 先進的な具体例 自治体の取り組み
- 双子に特化したサポートを行える研修や資格認定を行うのでしょうか。
- 多胎家庭に特化された支援の充実は地域で支援する現場にとって、必要なことだとずっと考えていました。行政は多様な多胎育児支援の必要性を感じながらも、民間のネットワークだけに頼らず、このような補助事業を活用し、連携しながらマネジメント機能をもっていただけるために、相談していきたいと思います。
- 多胎家庭への支援が広がることで、負担なくピアサポートをしたいと思う方が増え、その循環が繋がっていけば、他の支援と組み合わせると心強い支援になっていくと思います。
- 多胎児の家庭の大変なことがよくわかりました。訪問活動を行うにあたり、多胎児を育児した経験を持つ方は少ないので、多胎児家庭の必要としている支援の勉強会などを考えていかなければと思います。貴重なお話をありがとうございました。
- 多胎児の方の実際の声やどういった支援を受けてどうだったかが知りたいです。
- 多胎児を育てている、あるいは育てた当事者の話を直接きくことができれば、わかりやすい、と思う。
- 多胎児支援団体のつながりがもてるネットワーク
- 多胎妊産婦の方が、気軽に手助けが受けられる環境作りや、受け皿の実践事例等を発信していただければ有り難いです。
- 本日はありがとうございました。
- 本日はありがとうございました。誠に申し訳ありませんが、今回、初めて日本多胎支援協会や事業を知りました。初めての育児が一人でも大変なのに多胎になると、どんなにか負担が増えるのか。経験者でしか想像しえない日常や思いが少しでもわかる様になればと感じました。研修を通して訪問する家庭が多胎児であっても寄り添える様な働きかけやエンパワメントを引き出せる様、知識や経験を豊かにしていきたいと思いました。
- 両親学級の1項目として、快適な抱っこやおんぶの方法などをお伝えすることはいかがでしょうか？抱っこが楽になる事で、育児の負担軽減につながります。当協会(日本ベビーウェアリング協会)内でも、ご提案出来る形を模索してみたいと思いました。機会がありましたら、ご検討頂けたら幸いです。この度は貴重な機会をありがとうございました。

《多胎支援団体関係者》

- 他の質問に対する回答をまた確認させていただきたいと思います。
- うちの市は多胎に対しての支援は特にありません。との事でした。保健センターや子育てサークル、地域の保育士等に対する講習、講演をもっと小さい単位でやっていく事で支援が根付いていくのではないかと思います。
- オンライン講座やオンライン交流会は外出が困難な多胎児家庭にとって有効な手段だと感じました。またこのような勉強会があれば参加したいです。
- こうした行政向き講座

- このような、講座をもっとしてください。ありがとうございました。
- この事業について、都会の例を挙げられていました。そして、地方であれば、地方の小さな自治体が事業を起こさなければ、地方のふたごみつご家庭は隙間に埋もれたまま変わらないのではと思って聞いていました。質疑応答の内容にもありましたが、自治体を動かす力、積極的に要請していく……そういう地方は、多胎支援団体がなく、個人レベルで頻繁に自治体担当者とコミュを図ら事業の立ち上げを働きかけるといことは相当の負担がかかります。新たな事業が加えられたことは大前進だと受け止めていますが、地域格差も残されたまま(そこを手当てしていくため国がもっと手を入れてほしい)と感じています。手を上げた自治体が行う事業ではなく、全国どこにいても、どの多胎家庭も必要な支援を受ける権利を持てるには、まだまだ当事者の動きが足りないのでしょうか。そうした地方でも、個人・グループでこんな活動を行ってるよ！地域の保健師さんたちと信頼関係をつくっているよ！といった情報交流できる場があると嬉しいです。
- コロナ禍で通常の活動ができず、多胎に関しては対面がすごく有効であると思われるのにできない葛藤があります。どういう支援ができるか発信していただけたらうれしいです。
- ピアサポーターは人材と継続性が重要な支援です。継続する為に複数回の勉強会受講もしなくてはなりません。ピアサポーターを集めるだけでも労力がある上、講座費用が高いと更に参加率が低くなり人が担保できません。オンラインでもっとリーズナブルに設定していただけると助かります！！！！全国的にも広がりやすいと思います！
- ピアサポーター養成講座
- ピアサポーター養成講座はあまり機会がないので数を増やして実施してもらいたいです。
- ピアサポーター養成講座や多胎支援講座に興味がありますが、3~5名の団体で申し込まないといけないという点がハードルが高く感じます。オンライン受講なので1名からでも参加可能にしてほしいです。
- 現在関東でも多胎ネット立ち上げの方向で動いております。JAMBAさんがこれまでに築いてこられたことも含め、次の多胎ファミリーにも繋げていけたらと思っています。既にお世話になっておりますが、これからも何卒、よろしくお願いいたします。
- 厚労省の方との講座よかったです。これからも支援のための活動 期待しています。
- 国の支援政策が対象を市町村ではなく、広域の地域や県でも使えるようなので、実施主体を変更してほしいと思いました。多胎支援は県単位で行った方がより良いと思う。これからも日本のどこに多胎児が生まれても安心して暮らせる社会になるように頑張ってください。応援しています。
- 今回のオンライン講座は非常にわかりやすく、現在私たちの市で行っている産前産後から継続したサポートが、今後必要であることがよく理解できました。地域の多胎ファミリーに今後も寄り添うことができるように活動したいと感じております。ありがとうございました。
- 今回の講義のような、行政と支援者をつなぐ機会を作ってくださいと嬉しいです
- 今回の事業内容には入ってましたが、現在ピアサポートだけでは間に合わない現状になっていると思います。今のママたちは、弱音を吐くのがとても苦手です。生活のサポートの中でないと見えないことや救えないママたちがいるように思います。ただ、出来れば一番気持ちの理解できるピアの人がサポーターになればよいのですが、乳幼児期を越えると、多胎児はお金がかかるのでみんな何かしらの仕事を持っています。気持ちはあっても現状が許さないという状況で、日常生活サポーターを確保することがかなり難しくなってます。現在市の募集する育児サポーターも有料ボランティアとなっていますが、仕事を持つママ達には利用可能ですが、多胎児を抱え仕事復帰のままならないママの家庭では厳しいものがあります。せめて乳幼児期だけでも生活のサポートを無理なく使えるようピアのサポーターの件費を支援事業の中に含んでもらえると思います。幾分の対価が発生すれば気持ちのあるピアの人はサポーターに復帰してくれると思います。現状オババ組で頑張っていますが、続いていかなければ意味がないので。血縁関係のないおばあちゃんということでオババ組も違う意味で役に立つこともあるよね…と思いつつ…ですが…。
- 私の地域ではすでに市が多胎家族の交流会をしていますが、いち早くそれ以外の必要とされている支援が始まる事を願っています。市町村だけに任せては中々進まないように感じるので、多胎に特化した研修を受けた NPO 等が登録し、委託されてピアサポート等広まるといいなと思いました。自分自身多胎家族であり、保育士資格、長くはないですが勤務経験もあるので、何ができるこ

とがないか？と考えていたので、今回の支援拡大がきっかけになればと思っています。今日はありがとうございました。

- 実際に多胎支援をしているひとの体験談を聞きたいです
- 専門職と、多胎育児経験者、子育てサポート者などとの連携がとれるような研修
- 全国がつながって多胎家庭を、支援していければ、いいですね。お疲れ様でした。有難うございます。
- 他の市町村での支援活動を共有したいです。良い活動を取り入れて、どの地域でも同じサポートが出来る様になればと思います。
- 多胎サークルとして活動しています。講座や研修などいろいろなことをバックアップしていただくと助かります。
- 多胎育児が大変なことが社会的に認められたことは嬉しい。双子の親で、子育て支援に携わっているこの立場を活かして、より多くの多胎家庭の力になりたいと強く思った。
- 多胎育児家庭がピアとして活動したい場合、具体的に自治体にどのように働きかけていけばよいか？例が欲しい。経験談など。自治体は簡単には動かないという前提を踏まえて欲しい。自治体から多胎だけに事業するわけにいかない、など言われたケースも聞きます。
- 多胎児家庭への液体ミルク支援については、実際使われた保護者の方から感謝の声を頂いています。多胎児家庭には必要な物・事柄であってもなかなかそれが周りに理解してもらえない事案はまだまだ沢山あると思います。手間と時間はかかるかもしれませんが、少しずつ支援の隙間を失くす働きかけを期待しています。今日は色々参考になりました、ありがとうございました。
- 地域それぞれに必要な支援の形があるとおもいます。育児パッケージで同じものをもらうより、多胎の場合 1 人分は市内の一時預かりに預ける際に使えるクーポンになれば 1 人分の費用が浮き預ける際の負担削減になるのではないかと考えています。
- 田舎に住んでいるので、都会と比べなかなかサポートがありません。ファミサポすらないです。実家は県外のため通院や検診が大変でした。検診はスタッフさんは手伝ってくれなかったです。ずっとでなくてもいいので着替えをする時見ていただけたり、1 人やってくれると助かりますよね。
- 有り難うございました。
- 例えば、0 歳児期に支援の必要のなかったご家庭(身内の支援等があり)が、1~2 歳期に必要であったりするので、多種多様な長期に渡る支援を期待します。

《多胎家庭の方》

- どの都道府県、どの市町村(田舎でも)でも容易に協会の支援を受けられる方法や、ピアサポーターを増やしていくコツを知りたいです。
- またこのような機会があれば参加してみたいと思いました。ありがとうございました。
- 各自自治体でもサポートの支援策が進み、一人でも多くの多胎家庭に、必要な支援が行き届く世の中になることを願っています。
- 現在、双子妊娠中の者です。今日の内容を参考に、これから行政に対して要望を出していきたいと考えています。本日は厚労省の方からのお話でしたが、先進的な取り組みを既に行っている自治体さんからお話をお聞き出来る機会があるとありがたいです。予算をどのように遣ったか、今回ご案内いただいている日本多胎支援協会さんの講座をどのように活用したかなども含めお聞きしたいです。

《その他》

- 自身も多胎児育児の経験者ですが、産後は壮絶で、外出がままならないなか、同じくらい月齢の双子を育てているママのブログをみることで、とても支えになりました。孤独感・孤立感の解消のため、ピアサポート、交流会等、とても意義のある支援だと思います。多胎育児では子どもが小さいうちは外出が難しいですが、コロナ禍をきっかけに、オンラインによる支援も広がっていけばと思います。

(以上)